

学童クラブと小学生の居場所づくりを検討する上での視点について

テーマ	検討の視点	参照資料
学童クラブのあり方	○ 登録制の導入により待機児を解消したが、今後更に需要増が見込まれる中で、どのようにこれを受け止め、子どもへのきめ細かな対応を確保していくか。	資料編P7 資料20
	○ 子どもたちの安全・安心の面などから、学童クラブによっては、学校内への移転を望む声が多い所もあることや、登録児童数の多いクラブでは、他の利用者の利用が制約されている状況をふまえ、設置場所をどのように考えるか。	資料20(P4) 資料編P6
	○ 子どもを迎えに行ける時間までの時間延長や年末の運営日の拡大を求める声にどう対応するか。	資料20(P7、P11)
小学生の居場所づくり	○ 学童クラブの登録児童数が増加し、児童館の一般利用が制約されている状況があるとともに、児童館の空白地域もある中で、小学生の安全・安心な遊び場や居場所をどのように確保するか。	資料編P1、P6、P23～26、P39とその関連資料
	○ 生き生きとした子どもの遊びを増やし、子ども同士の関わりを強め、また、子どもの社会性を育むようなプログラムを担い手の問題も含め、地域の中でどのように展開するか。	